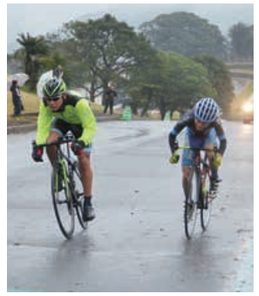
光り輝く聖夜のばら園

12月21日～25日（23日は休園）、かのやばら園で、「クリスマスファンタジーナイト2019」が開催されました。期間中は約20万球のイルミネーションが園内を照らし、鮮やかな光の空間を演出。日替わりでのダンスショーや音楽ライブのほか、イルミネーション・花火・音楽が融合した花火ショーが行われ、来場者は幻想的なクリスマスを楽しみました。

雨風に負けず霧島ヶ丘を駆け抜ける



12月22日、霧島ヶ丘公園で、「第５回かのやサイクルフェスティバル」が開催されました。これは園内のサイクリングコースを各カテゴリーに分かれて走り順位を競う大会。この日はあいにくの悪天候で一部日程が変更されたにもかかわらず、49人のサイクリストがレースに参加し、ゴール前のスプリント勝負などで熱い戦いを繰り広げました。

歯科衛生士として県内初受賞

12月16日、「歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞された野元美佐子さん（寿２丁目）が市役所を訪れました。これは野元さんが在宅歯科衛生士として地域住民の歯科保健の向上に30年以上尽力されてきたことが評価され授与されたもの。歯科衛生士が同表彰を受賞するのは県内初で、野元さんはこれまでの活動や予防歯科の大切さなどを語りました。

26年に及ぶ活動で厚生労働大臣表彰

12月23日、11月の全国社会福祉大会で「社会福祉功労者厚生労働大臣賞」を受賞された西ノ原文男さん（札元1丁目）が、関係者と市役所を訪れました。この賞は、西ノ原さんが平成４年から民生委員・児童委員の職務を精力的に活動されてきたことが評価され授与されたもの。西ノ原さんはこれまでの活動での苦労話や受賞の喜びなどを語りました。

拉致問題解決へ向け署名簿と募金を贈る

12月17日、市役所で、北朝鮮による拉致被害者・特定失踪者とその家族を支援するための署名簿と募金が、拉致被害者家族の市川健一さんらに手渡されました。この署名・募金は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に合わせて市民などから寄せられたもの。市川さんは「とてもありがたい。これからも全員が帰ってくるまで頑張り続けたい」と話しました。

「Act（アクト）展」に個性あふれる力作が並ぶ

12月18日、リナシティかのやで、「第５回障がい者絵画作品コンクールAct展」の表彰式が開催されました。このコンクールは、障がいのある人たちの作品の持つ可能性と評価を高めることを目的に始められたもので、今回応募された作品は113点。28日まで同会場で展示が行われ、スポーツをテーマにした作品などが訪れた人たちの目を楽しませました。

冬の空に打ち上がる幻想的な花火

12月13日、リナシティかのやで、「第10回冬華火（ふゆはなび）」が行われました。会場ではステージでバンドやジャズの演奏が披露されたほか、市内の飲食店が温かい食べ物などを販売。10回の節目を迎えた今回は、例年より多くの花火が打ち上げられ、会場を訪れた約3,500人は冬の夜空を彩る花火やレーザーショーの美しさに酔いしれていました。

バレーボールのオリンピアンに学ぶ

12月15日、鹿屋体育大学で、バルセロナ五輪銅メダリストのヨーコ・ゼッターランドさんによるバレーボールイベントが開催されました。これは、同大学が地域へのオリンピック教育の一環として行った公開講座。市内外から参加した小学生約70人は、講演やバレーボール教室を通じて、諦めない気持ちや日頃の練習への取り組み方などを学びました。

自ら育てた黒豚肉の可能性を体感

12月13日、鹿屋農業高校で、畜魂祭・農魂祭が行われました。これは命の大切さを再認識するための行事で、神事後には、同校の生徒が生産した黒豚肉や製造された生ハムを味わいました。

３年間の感謝を込めて振る舞う自信の料理

12月13日、鹿屋中央高校で、調理・食物コースの３年生による「卒業作品展」が行われ、生徒が３年間学んだ知識や技術を生かして完成させた料理が保護者や職員などに振る舞われました。

「文化ゾーン」に木製ベンチを寄贈

12月12日、鹿屋ライオンズクラブから市へ木製ベンチ９台が寄贈されました。寄贈されたベンチは市文化会館・市立図書館・市中央公民館周辺の「文化ゾーン」に設置されました。

楽しく学ぶ夫婦円満の秘訣

12月14日、リナシティかのやで、医学博士の石蔵文信（いしくらふみのぶ）さんの講演会が開催され、夫婦関係を長続きさせる方法などについてユーモアを交えた内容で、会場は終始笑い声に包まれました。

１年間の学習成果を披露

12月15日、輝北コミュニティセンターで、「輝北町生涯学習フェスタ2019」が開催され、輝北町文化協会に所属する琉球三線（さんしん）や詩吟、舞踊などの同好会が日頃の活動の成果を披露しました。

人権問題に対する理解と認識を深める

11月30日、市文化会館で、「令和元年度鹿屋市人権問題講演会」が開催され、人権に関するポスター・標語コンクールの表彰式や児童虐待問題の専門家である広岡智子（ひろかともこ）さんの講演が行われました。